

各教科の一単位時間の配慮点

	指 導 の 配 慮 点 (授業規律・発問・板書・個別指導・ノート指導等)	評 価 の 観 点			
		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	思考・判断を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導 入	<p>(授業規律)・チャイム着席の意識付けを生徒に繰り返し指導する。</p> <p>(板書)・本時の単元名を板書し、教科書の該当箇所を明示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらい(課題)を板書し、ねらい(課題)を意識させる。</li> </ul> <p>(教材提示)・教師による演示実験は、全員が集中して見えるように工夫する。</p> <p>(教材提示)・ビデオ等、生徒の関心をひくような効果的な教材の提示を工夫する。</p> <p>(実験)・実験の説明の時は、特に集中力をもって聞くように、普段から指導する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の身近な話題から導入する。(5分程度)</li> <li>・演示実験には、生徒の予想に反する実験や、疑問を抱かせる実験も行う。</li> <li>・視覚教材の工夫をして提示をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(生活の中で)体験したことを課題と結びつけて考えさせるようにする。</li> <li>・見通しをもてるような課題、実験を用意し、考えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートは見開きで使い、1時間分で1ページ以内になるようにする。</li> <li>・ノートには、本時の課題を書かせる。</li> <li>・図やグラフなどもなるべく書かせる。</li> <li>・授業のポイントが分かるようにノートに記入させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学用語、科学的な概念は、①繰り返し②色を変えるなどして書かせる</li> <li>・ミニテストなどを実施し、知識、理解の定着を図る。</li> </ul>
展 開	<p>(ノート指導)・課題に対する予想を考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験は、日常生活体験や、前時までの学習や前学年までの既習事項をもとに結果を予想し、その結果の考察ができるようにさせる。</li> </ul> <p>(指導技術)・実験等は、計画から結果・考察までを連続的にとらえさせ、目的や見通しを明確にさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察の書き方(表、グラフ、図を多用するなど)の指導、確認してから実験等を行う。</li> </ul> <p>(板書)・(学習・実験方法などの)要点を明確に板書する。</p> <p>(実験結果をまとめる)・自分の考えをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同時に、他の班(班員)の結果(または、考え)を書く。</li> </ul> <p>(話し合い)・教師が話の中心を整理しながら、要領よく進める</p> <p>(実験)・終了時間を明示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験に入る前に、安全指導を行う。</li> <li>・正しい実験器具の扱いができていないときは、実験を止めさせ、取り扱い方法を再度確認する。</li> <li>・レポートは完成後にも見直しをさせる機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の考えの良さを教師が意識的に認め、意見を発表しやすくする。</li> <li>・机間指導では、ノートの記入方法等良い部分を指摘し、寸評を加えて、意欲の向上を図る。</li> <li>・生徒自身が自分の考えた実験や観察の時間をとる。これにより主体的に学習する意欲を向上させる。</li> <li>・目的や方法を明確にし、意欲が減退しないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相違点や共通点を意識させたノートの書かせ方や発問を工夫する。</li> <li>・対照実験を考えられるように、実験計画を立てさせる。</li> <li>・実験結果から、前時までの学習内容や生活体験を思い出させるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく器具等を使っている生徒を評価し、学級全体が向上するようにする。</li> <li>・表やグラフ、図が正しく、丁寧に書いている生徒を評価し、学級全体が向上するようにする。</li> <li>・実験器具の操作テストをする。</li> <li>・実験器具は、なるべく多くの生徒が操作できるように準備する。</li> <li>・観察では、五感を十分に使うよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①実験器具の取り扱い方、②結果から得た知識・理解は、繰り返し確認をさせる。</li> <li>・ワークやまとめのプリントを工夫し、知識・理解を明確に書かせる。</li> <li>・科学用語の復習する時間を取る。</li> </ul>
ま と め	<p>(板書)・黒板、模造紙などに実験の結果を書かせることにより、共有を図る。</p> <p>(授業形態)・小グループでの学習の場を設定する。</p> <p>(ノート指導)・ノートのまとめには、①分かったこと、②新たに疑問に思った事・不思議に思ったこと、③次時につながることを記入させる。</p> <p>(評価)・簡単な自己評価や、相互評価(友達の良さ)も取り入れる。</p> <p>(授業構成)・本時の課題が解決されたことを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問などは、発表させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめの段階では、自然の不思議さ、美しさ、自然への畏敬の念に気づくような言葉かけをする。</li> <li>・簡単な自己評価や相互評価を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・結果を考察し、そこから理解を深められるよう、助言をする。</li> <li>・身近な事例と結び付け、理解を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・正しく実験している生徒を見つけ、評価をする。</li> <li>・まとめの段階では、何をどのように書くのかをくり返して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時で何を学んだのかノートにまとめさせる。</li> <li>・まとめに関する自分なりの考えを書かせる。</li> <li>・家庭学習に取り組めるような課題を出す。</li> </ul>